

小学校 5年 音楽

「和音のはたらきを感じ取ろう」(ICTを活用した授業)

伊達市立関内小学校  
大谷 真由美

○はじめに

本校にデジタル教科書が配布され、音楽科の学習で活用をしている。

○本時のねらい

音楽の教師用デジタル教科書の最初のページにある「音作り」を活用して、和音の音色の違いを考えながら4小節の曲作りを行う。主要3和音を演奏したり、聞いたりすることによって、和音の違いによる曲の感じの違いに気付かせたい。

○主に活用したICT 機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

教師用デジタル教科書活用→子どもたちがデジタル教科書にキーボード入力し、曲作りをする。その曲をお互いに交流することで、和音を生かした曲の響きや面白さに気付くことができるようにさせたい。

○参考にしてほしいポイント

子供たちが自分で作った曲を何度も手直しして聞くことが可能。自分たちで楽器を演奏しなくても聞くことができるので、演奏が苦手な児童も気軽に曲を作り、聞くことができる。

学習の流れ(分)		主な学習活動とその内容	ICT 機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	導入	～5分 ○本時の課題を確認する。 ・和音を生かして曲をつくって聞き合おう。	・デジタル教科書の「音作り」を開く。
	展開	～30分 ○音作りを活用して、一人一人作曲していく。 ○演奏を聞きながら、手直しをして、仕上げていく。	・デジタル教科書の「音作り」へ、和音と音階を入力する。
	まとめ	～45分 ○それぞれの作曲した曲を聞いて感想を発表し合う。	・「音作り」で作成した曲を再生後、保存する。 ・次時につなげる。



デジタル教科書の  
「音作り」のページ

キーボードを使って、音符を打ち込んでいく



二人で手直しして  
いる様子

お互いの曲を聞いて、アドバイスし合い、  
直していく

### ○児童生徒の反応

- ・自分たちで作った曲をすぐに演奏として聞くことができ、子どもたちは大喜びだった。
- ・何度もやり直して聞けるため、自分で演奏するよりも手軽に手直しができた。
- ・他の学習でもICT 端末（Chromebook）を日常的に活用しているので、パソコン入力の操作も手馴れていてスムーズだった。
- ・次は8小節も作りたいと意欲的に話していた。

### ○活用方法

評価の観点	主体的に取り組む態度 知識・技能 思考・判断・表現
具体的変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲作りに主体的に取り組むことができた。</li> <li>・和音を生かしていろいろな旋律を作ることができた。</li> <li>・和音の旋律の響きや面白さに気付くことができた。</li> </ul>

### ○実践の手応え

演奏が苦手な児童などは、自分の作った曲を自分で演奏しなくてもすぐに聞くことができるため、意欲向上につながると感じた。